

広島大学法科大学院

法律科目試験

[憲法]

2022年11月12日(土)

13:20~14:20

注意事項

- 1 ページ数は、表紙を除いて、2ページです。
- 2 問題は1問、解答用紙は1枚、下書用紙は1枚です。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に横書きで書いてください。罫線外及び裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。

【憲法】(60点)

日本の域外にある国若しくは地域の出身者又はその子孫らに対する差別的言動に対処するために、国は2016年に「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」(以下「法」という。)を制定した。もともと法は、国及び地方公共団体の責務や基本的施策について定めるものの、差別的言動に対する罰則等は定めていない。

A市では、住民の約8%をB国出身者(B国の出身である者又はその子孫であって日本国に適法に居住する者をいう。以下同じ)が占め、以前よりB国出身者に対する差別的言動が大きな問題となっていた。そこでA市は、こうした問題に実効的に対処するため、新たに「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消のための条例」(以下「条例」という。「参考条文」参照)を制定した。条例は、法に倣うかたちで「本邦外出身者に対する不当な差別的言動」を定義したうえで(2条)、そうした差別的言動を禁止し(5条)、禁止された言動を行った者等に対して、同様の言動を行ってはならない旨の命令を市長が発することができる旨定め(6条)、命令に従わない者に対する罰則を設けている(12条)。

A市の住民であるYは、同市においてB国出身者が優遇され過ぎていると不満を抱いて

出身者を地域社会から排除することを煽動する不当な差別的言動をいう。
(本邦外出身者に対する不当な差別的言動の禁止)

第5条 何人も、市の区域内の道路、公園、広場その他の公共の場所において、

用し、看板、プラカードその他これらに類する物を掲示し、又はビラ、パンフレットその他これらに類する物を配布することにより、本邦の域外にある国又は地域を特定し、当該

国又は地域の出身であることを理由として、次に掲げる本邦外出身者に対する不当な差

広島大学法科大学院

法律科目試験

[刑法]

2022年11月12日(土)

14:40~15:40

注意事項

- 1 ページ数は、表紙を除いて、1ページです。
- 2 問題は1問、解答用紙は2枚、下書用紙は1枚です。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。

[刑法] (60点)

次の【事例】を読んで、(1) から (3) の問いに答えなさい。

【事例】

Xは、生活費に困り日々の食事もままならなくなっていたところ、某日午後1時頃、公園のベンチにA所有の書類鞆と小型バッグがあるのを見つけた。Xは辺りを見回したが誰もいなかったので、忘れ物であると即断し、小型バッグには財布が入っているのではないかと思い、これを持ち去って昼食にありつこうと悪心を起こし、小型バッグを手にとるとその場から走り去った。

Xが持ち去った小型バッグは、Aが数メートル離れた公園のトイレに行くためにその場に置いていたにすぎず、その小型バッグには現金3000円入りの小銭入れが入っていた。

(1) 財産犯を類型化する際に用いられる「領得罪」及び「移転罪(奪取罪)」をそれぞれ説明しなさい。

(2) 窃盗罪と占有離脱物横領罪とはそれぞれの実行行為が領得行為であると評価できるから構成要件に実質的な重なり合いが認められるとの主張について、その当否を論じなさい。

(3) 上記事例におけるXの罪責を論じなさい。

広島大学法科大学院

法律科目試験

[民法]

2022年11月12日(土)

16:00~17:20

注意事項

- 1 ページ数は、表紙を除いて、1ページです。
- 2 問題は2問、解答用紙は2枚、下書用紙は1枚です。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に横書きで書いてください。罫線外及び裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

[民法] (80点)

第1問 (50点)

甲不動産を所有するAが死亡した。Aの相続人は子BCである。このことを前提に、以下の問いに答えなさい。なお、各問いは、それぞれ独立しているものとする。

(1) BC間の遺産分割協議は未だ行われていないが、Cは、遺産分割協議書を偽造して、甲につき自らの単独相続の登記をし、直ちに、これらの事情を知らないDに甲を譲渡し登記も移転した。この場合において、BはDに対し相続による甲の2分の1の持分の取得を対抗することができるか。理由を付して解答しなさい。

の単独登記が行われる前に、その事情を知るDが、持分を市価の3倍でBに買い取らせるべく、Cに執拗に働き掛け、Cは、甲につき共同相続の登記をした上で、Dに甲の2分の1の持分を著しく安価で譲渡し登記も移転した。この場合において、BはDに対し甲の所有権取得を対抗することができるか。理由を付して解答しなさい。

第2問 (30点)

17歳のYは、両親ABの同意を得ることなく、Xとの間でY所有のバイク(以下「本件バイク」という。)を10万円で売却する契約(以下「本件契約」という。)を締結し、Xに本件バイクを引き渡しXから代金10万円を受け取った。Yは、受け取った代金のうち7万円が、